

吹田民主商工会 いんぷお め〜しよん

8月の相談活動について

8月の相談では、保険料の減免分納相談を行ったこともあり27件と国保の相談が一番多くなっています。そのほか社会保障にかかわる相談では医療費の無料低額診療制度や高額療養費の還付、社会保険の算定基礎届の相談が寄せられました。

労働保険では、労災保険特別加入の相談で建設業の方が入会されました。この方は3月にも取引先から求められてそれまで外注だった職人を正規雇用になり替え、雇用保険の手続きをしていましたが、特別加入は事務組合が必要のため、高槻民商に入っている知人から民商を紹介されて吹田民商に來られました。建設業の労働保険・社会保険の相談は引き続き寄せられると思われま。

生活の相談では、9月7日に開催する地震被災の相談会の案内を見ても問合せがありました。地震により賃貸で居住している住居が損壊し、修繕しないことを決めた家主から退去を求められているとの内容でした。また会内で住居の一部損壊があった方には吹田市が始めた一部損壊等住宅修繕支援制度を案内しました。

税金の相談では記帳相談が毎月寄せられています。また不動産売却による税金の相談もあり、申告に必要な書類を揃える相談がありました。税務調査では片山支部会員に8月初旬に発生しています。事前通知など納税者の権利を守る学習を進めています。

伝言板

よこすく祭

9月16日(日)朝10時〜昼3時まで 千里南公園
民商はぎょうしゃの広場で、模擬店や紙芝居など行ないます。ぜひお越し下さい。

沖縄連帯しよんおおわか

9月18日(火)夜6時 エルおおさか南館5階
「沖縄の未来を語る」 講師 稲嶺進さん

無料法律相談

9月20日(木)昼1時 民商会館
北大阪総合法律事務所の弁護士が対応します。相談がある方は事前に予約してください。

「安倍改憲阻止！沖縄」連帯する 政治を語る会

9月26日(水)夜7時 さんくすホール

「倉敷民商3人の無罪を勝ち取る大阪の会」第4回総会

10月3日(水)夜7時 大商連会館
「小原・須増事件の不当判決・弾圧はね返す民商運動を」
弁護士 岡邑 祐樹さん

お買い物は地元市場商店街で・商工業者の繁栄は市民とともに！

吹田市川園町20-1
TEL (06) 6383-2211
FAX (06) 6382-8190
http://www.suita-minshou.com
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

毎週木曜日の
午後2時・夜7時
なんでも相談会

8月の相談件数					
経営	許認可	1	労働保険		10
	その他	7	生活	その他	4
税金	記帳	8	社会保障	国保	27
	自主申告	1		社会保険	1
	滞納	1		医療	3
	源泉	2	その他	1	
	調査	1	共済	給付	11
	その他	1	その他		1
合計					80
労働保険			共済会		
雇用保険	資格取得	4	給付	入院	9
	資格喪失	2		安静加療	2
特別加入		1			
新規委託		1			
その他		1			

大阪社保協自治体キャラバン 吹田市との懇談会が行われました

大阪社会保障推進協議会の自治体キャラバンによる吹田市との懇談会が9月3日に行なわれました。国民健康保険では、吹田社保協国保部会で行なった懇談で今年4月の条例改定後も減免が変わることがないことを再度確認しました。大阪社保協の事前アンケートでは「医療費」や「低所得」などを理由にした減免を廃止したと回答していましたが、減免に関わる要綱も変えているが相談で聞く中で、個別で判断することとした。大阪府に対しては各市町村独自の減免基準を継続できるように吹田市として要望を続けるとの返答もありました。しかし、大阪社保協の寺内事務局長からは昨年の法定意見書や大阪社保協のアンケートへの回答などを見ていると、統一化に反対していた吹田市が意見を変えたと取られ兼ねないとの意見が出されました。また6月の大阪府北部地震の現状をから大阪府の減免統一基準にある災害減免が家屋の半壊や床上浸水から対象になっているため、減免の対象になる世帯がほとんどいないことを示して、今年の調整会議のメンバーである吹田市が3年の見直しを待たずに減免基準の拡充を求めてほしいとの意見には、室長の森田さんから「共感できる内容なので、意見として述べていきたい」と返答がありました。その他、全員喫食の中学校給食の実施や入学準備金の小学校就学前の支給、介護保険の総合事業、はり・きゅう・マッサージ助成など様々な分野について意見が交わされました。

